

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年9月27日

号機

-

件名

保安規定対象記録の未保存について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年9月8日、社内にてマニュアル改訂準備のため前回の実施状況を確認していたところ、マニュアル改訂時に添付する審査のためのチェックシート^{※1}（保安規定120条対象記録に該当）が見当たらないことに気づきました。

当該シートの検索と合わせて、過去10年分のチェックシートについて、その保存状況^{※2}を所内各所で調査した結果、9月27日までに合計5件について、同様に保存されていないことを確認しました。

なお、マニュアル改訂の際には、マニュアル総括担当箇所が必ず当該チェックシートを使用して第三者審査を行う手順となっており、マニュアル承認過程でチェックシートを必要とすることから、作成はされていたものと判断しております。

※1 マニュアルとして必要な要件（目的、要求事項、責任・権限、記録、改訂理由の明記など）を満たしているかを審査するためのチェックリスト

※2 原子炉施設保安規定では保存期間5年、マニュアルでは保存期間10年

【対応状況】

本件は当該チェックシートを適切に保存できていなかったという日常業務における不備と考えており、引き続き原因調査を行い、その結果を踏まえて対応を検討してまいります。

（2022年9月27日にお知らせ済み）

【原因】

マニュアルと当該チェックシートをセットで保存するルールの認識不足により、保存されなかったことが原因と判断しました。

【対策】

本事案を受け、当該チェックシートの内容をマニュアル本体の中に入れ込む形で見直し、保存漏れを防止するとともに、あらためて、発電所の所員に周知いたします。

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年10月5日

号機

2

件名

高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の燃料配管からの油漏れについて（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年10月4日、2号機原子炉建屋付属棟地下1階、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機[※]室（非管理区域）にて、点検後の復旧作業に伴い燃料タンクからディーゼル機関への燃料（軽油）の通油作業を実施していたところ、燃料配管の継ぎ手部分から油漏れを確認したことから、通油作業を中止するとともに公設消防へ連絡しました。

現在、油漏れは停止しており、漏れ出た量は約100Lと推定しています。

なお、油の外部等への流出はなく、環境への影響はありません。

※ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機

外部電源喪失時に高圧炉心スプレイ系で使用する負荷へ電源を供給するための非常用の発電機

②【対応状況】

今後、油が漏れた原因を調査し、再発防止対策を講じてまいります。

（2022年10月5日にお知らせ済み）

【原因】

復旧作業において、交換前の部品（旧品）と交換する部品（新品）で照合を行った後、取替を行う運用としておりました。

今回の復旧作業では、作業者の経験が浅かったため、ポンプ部分のガスケットを交換する際に適切に照合を行わずに類似品と取り違えて交換し、作業班長は、ガスケットがついていたことは確認したものの、仕様が合っているかの確認をしておりませんでした。

その結果、ガスケットが機能せず、油漏れに繋がったことを確認いたしました。

【対策】

部品交換時の保管管理や照合の重要性と、類似品との取り違えが無いよう、作業場所に必要以上の部品を持ち込まないことを再周知いたします。

また、交換部品の管理シートや図面で部品の照合が出来るように、部品番号や数量に加え、寸法や材料などの詳細内容を記載したうえで作業を行い、作業班長も現場で詳細内容を確認するように運用を見直してまいります。

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月18日
号機	5	件名	原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年8月17日
号機	3・4	件名	サービス建屋地下1階ダクト穴からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年9月14日
号機	1	件名	港湾内への油の流出の可能性について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年9月21日